

研修ニュース



〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&FAX : 0595 (21) 8839

E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp

研修講座 A-6 授業づくり

【講師】 伊賀市教育アドバイザー 木村 清俊先生

6月4日(火)、伊賀市教育アドバイザーの木村清俊先生を講師にお迎えし、「授業づくり」の研修講座を実施しました。5年目までの教員の方を中心に、23名の教員が受講し、授業づくりの基礎・基本や教師の心がまえ等についてご指導いただきました。

初めに、「児童生徒理解」についての話がありました。児童生徒が意図したように活動しないのは、どこに課題があるのかを探ることが児童生徒理解につながることを学びました。

次に、教材研究の重要性についてご指導いただきました。課題提示は教科書に示されたような文章になっているか、課題は何に気づけば解決につながるのか、を考えることや指導者が導き出したい考えだけでなく、児童生徒の様々な考えを想定しておくことが大切であることを学びました。



また、今、学習で求められているのは言葉で説明し、伝える能力であることから、教師の話し方や姿勢、立ち位置、表情や振る舞いについてもご指導いただきました。特に児童生徒の話を書く時は視線を合わせることで、児童生徒へ話す速さ、声の大きさが適切であるかを意識すること、児童生徒が聞きやすい場所に教師は立つことなど具体的にご指導いただき、日頃の指導について振り返ることができました。講義の間には、持ってきていただいた草花について名前の由来などを紹介いただきながら、様々なネタを持つことで子どもたちの興味・関心を引き出すことができることも改めて感じることができました。



アンケートより 【一部抜粋】

- 子どもの発言を引き出し、主体的な学びにしていけるために、教師の話し方の引き出しをたくさん持っておきたいと思いました。私は、「なるほど」という言葉をつかいがちで、子どもの発言をつなげられていないと気づきました。「Aくんはこう考えたんだね。じゃあBくんはどう考えたのかな。」と子どもが自分の言葉で話し、友だちへとつなげられるような言葉がけを心がけたいです。(小)
- 誰一人取り残さない授業をするためにもとても勉強になる研修でした。木村先生がおっしゃった言葉の中に自分も使っている言葉や行動があったので、適切な言動を取れるように明日から直していきたいです。また、表情や声のトーンなども今までよりも意識して生徒たちの前に立とうと思いました。そして、子どもの興味を引き出せるような授業を作れるように工夫したいです。(中)